**卒論の進め方**

**卒業論文＝教科目名「看護研究」**

位置づけ：「看護研究入門で得た知識や技術をもとに、“自己の研究課題”を探索し、各研究室にて一連を実施する」

**研究の一般的な進め方**

**着想・発想**（自由！）

→**文献検索**（関連する先行研究を調べる。先行研究で判明したことと不明なことは？）

→**実験計画**（理論的思考による。比較対象を明確にし、条件を考えながら計画を立案）

　→**研究倫理講習を受ける＊**（CITI Japanのe-ラーニングプログラムを受講します）

→**実験**（やってみる！ダメなら計画を立て直してやってみる！）

→**データ解析**（統計処理は説得力があるが、絶対ではない）

→**検討**（結果から言えることは何か？何が不足しているか？）

→**論文作成**

**研究論文の構成**

**タイトル**：表題であり、研究内容を反映して簡潔なものがよい。

**要約**：研究の背景、方法、結果、いえることをまとめたもの。「何のために（目的）」「何を（対象）」「どうしたら（方法）」「どうなった（結果）」

**諸言**：なぜこの研究が必要なのかをいうために、これまでわかっていること、わかっていないことを背景として記載する。そのうえで、この研究の目的を明記する。
Ｘとは何か？（導入）
なぜＸの研究をするのか（問題意識）
何が新しいのか（新規性）、何が優れているのか（優位性）

**方法**：もし、来年の卒論生が同じ実験をしようとした場合、この部分を読んで行えば「全く同じこと」ができるように書く。使用する機材・材料、対象（被験者）、例数、手順、環境などなど。
なぜこの方法を選んだのかという理由を明記。
同じ方法で、後輩が同じ結果を出せるように。

**結果**：方法に対応して結果がある。方法と対にして記載する。
多い－少ない、速い－遅い、長い－短い　→統計的に有意にいえる場合のみ使用。

**考察**：言いたいこと、メインのことに重点を置いて書く。言いたいことを強調する。

**引用文献**：過去に報告されていること、過去に記載された方法を「引用」する際には必ず出典文献を記載する。

**図とその説明**：文章よりもインパクトが強い！！図表を上手に使おう。

**＊**研究倫理講習を受けるには、別途申込が必要です。なお、講習は無料で、自己学習形式となります。